

課外活動への取組

合宿研修

新入生研修（自動車整備科1年、1級自動車工学科1年）

入学式後、2泊3日で国立大洲青年の家にて新しく出会った級友との交流を深め、規律訓練やグループ討議を行いながら、団体行動やコミュニケーションをとる土台を築きます。この研修は今後2年あるいは4年間を過ごしていくうえでとても重要な研修と位置づけています。

日産関連企業訪問（自動車整備科1年、1級自動車工学科1年）

日産グループの一員として、整備科学生は就職活動が本格化する前に近隣の日産関連企業を訪問し、職場での仕事の内容を把握することで自分の就職先選択に幅を持たせる。訪問企業は愛媛日産自動車の新車販売、整備工場、西日本部品販売の自動車部品販売・配送、日産カーテクノ愛媛の板金・塗装・納整の仕事を担当者から直接教わることで、今まで知らなかった領域に目を向けることができている。

国内研修（自動車整備科2年、1級自動車工学科2年）

福岡の日産九州工場を訪問し生産工程で1台の自動車がどのようにできるか、その生産工程方式を見聞します。その後は米軍基地で揺れている沖縄に移動し戦争慰霊碑への参拝、観光産業の実態を見聞し本土と沖縄の関係を見つめなおしています。

スーパー耐久レースへの参戦

日産自動車大学校とKONDOLレーシングは2012年からスーパー耐久レースに参戦しています。同時に「プロのレースメカニック技術」、「レース運営のチームワーク」を習得する教育プログラムを構築し、「真のクルマ好き」を育成しています。

背景・狙い

日産自動車大学校は全国に5校あり、約1800名の学生が在籍しており、全国日産販社を中心とした日産グループへ優秀なメカニックを輩出する役割を担い、育成を行っています。一方、KONDOLレーシングは、スーパーGTレースにおける日産陣営の重要な役割を担い、これまで優秀な成績を収めてきました。そこで「真のクルマ好き人財」「組織に通用するコミュニケーション力を持つ人財」を育成する、という両者の目的が一致し、共同プロジェクトが実現しました。

教育コンセプト

プロ意識の醸成、すなわち「チャレンジ」「チームワーク」「コミュニケーション」「責任と信頼」「継続」「感謝」という6つのキーワードを全員で共有し、実現していく。学生はレースという真剣勝負の場や前後の活動で、社会人として必要な【主体性】【チームワーク】【おもてなしの心】【感謝の気持ち】を磨くために、全員がチャレンジし、学びあうことを念頭に置いて活動します。

クラス活動

学級担任と副担任を中心として各クラスで一体感を醸成するために様々な活動を行います。クラスという小さな組織の中で一人一人の結びつきを重視し、一体感を醸成します。

寮活動

西日本各地から愛媛校に入学した新入生全員が寮生活を体験します。団体生活を通して「規律」「協調」「責任」「コミュニケーション力」が養われるようになります。全寮性だからこそできる連帯感は将来の大きな財産となります。

同好会

校内の体育館はだれでも自由に午後8時まで利用できます。気の合った仲間がバドミントン、バスケット、卓球、ウエイトトレーニングと汗を流しています。